

港区立本村小学校  
令和4年度 授業改善推進プラン

1 本校における課題

国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字を正しく書くこと読むこと。</li> <li>・段落の役割について理解し、文章の構成について考えること。</li> <li>・内容の中心を明確にし、事実を伝える文章を書くこと。</li> <li>・主語と述語の関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割について理解すること。</li> </ul>
社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料に着目して、自分の考えを文章に表現すること。</li> <li>・身近な課題(廃棄物・水道)について、自分事として考え、自分ならどのように行動していけばいいか考え、実践すること。</li> </ul>
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・繰り上がり、繰り下がりのある加減計算</li> <li>・3位数同士の乗法の計算(筆算)</li> <li>・わり算の筆算(2・3位数を1位数でわる筆算)</li> <li>・分度器を使った角度のはかり方、角のかき方、三角定規の角の大きさの活用問題</li> </ul>
理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「電流のはたらき」の直列・並列回路のつなぎ方</li> <li>・「電流のはたらき」乾電池のつなぎ方とモーターの回る速さの関係について予想し、実験結果から予想が正しかったかどうかを文章で表現すること</li> <li>・「季節と生き物」ヘチマの植え替え方</li> </ul>

2 各教科の具体的な授業改善

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常生活に必要な国語の知識や技能</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字の書き取りに継続して取り組む。</li> <li>・お互い文章の内容の感想や意見を伝えあうことを通して、お互いのよいところを見つけられるようにする。</li> <li>・自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして書き表す指導を行う。</li> </ul>

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断したり、選択・判断したことを表現したりする能力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料から、何が考えられるか読み取り、それを表現できるように指導をする。</li> </ul>

算数	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・加減乗除の計算の基礎</li> <li>・量感を豊かにすること</li> <li>・道具を使つての測定や作図</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計算が確実にできるように、継続的に練習問題に取り組ませる。</li> <li>・自分の考えを絵や図、言葉でノートに表す時間を設ける。</li> <li>・量感を豊かにするため、具体物に触れる時間を十分に設定する。</li> <li>・分度器を使って角の大きさを測定したり、作図をしたりする際に個別指導を充実させる。</li> </ul>

理科	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主に既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想する力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2事象を提示し、それぞれの事柄を関係付けて考えることができるよう、発問や指導の展開を工夫する。</li> <li>・既習事項や生活経験と事象を結び付けるために、対話的な活動を取り入れる。</li> <li>・実体験を積ませるとともに、動植物など直接体験することが難しい事柄は動画を活用して、具体的に指導する。</li> </ul>

生活	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫

音楽	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発音の仕方に気を付け、自然で無理ない歌い方で歌う技能。</li> <li>・曲の特徴を捉えた表現を工夫し、思いや意図をもって表現する力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の声の特徴に気付くことを大切にしながら、曲想にふさわしい様々な歌い方を試し、声の使い方を意識しながら歌うように働きかける。</li> <li>・曲の特徴についての気付きを深めたり、必要な技能を身に付けたりしながら、表現を工夫する楽しさを味わわせるようにして、思いや意図を膨らませるようにしていく。</li> </ul>

図工	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前学年までの材料や用具についての経験を生かして工夫してつくる力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・かなづちを使った授業では、木と木の接合で適切な釘の長さを選ぶ場合、木の厚みと釘の長さを重ね合わせて適切な釘（長さ）を選べるように指導する。</li> <li>・材料の経験を生かした授業では、スズランテープ、ガミテープ、木端、厚紙などを材料コーナーに常備し、授業内容によっては使用できるよう指導していく。</li> </ul>

家庭	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫

体育	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己の運動や身近な生活における健康の課題を見付け、その解決のための方法や活動を工夫するとともに、考えたことを他者に伝える力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己の課題を見付け、その解決のための活動を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えることができるよう、発問や学習資料の提示を工夫する。</li> </ul>

国際	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、情報や考えなどを表現する力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分のことや身の回りの物について、動作を交えながら、好きなことややりたいことなど、自分の考えを伝え合う活動をさせる。</li> <li>・日常生活に関する身近で簡単な事柄について、人前で実物やイラスト、写真などを見せながら自分の考えや気持ちなどを話す活動を取り入れる。</li> </ul>

道徳	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、相手のことを理解し、自分と異なる意見も大切にすること</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自らを振り返って成長を実感したり、これからの課題や目標を見付けたりすることができるよう、話し合う場を設定する。</li> <li>・多様な見方や考え方のできる事柄について、特定の意見や考え方に偏った指導を行うことのないようにする。</li> </ul>

特別活動	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりできる力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理由を明確にして考えを伝えたり、自分と異なる意見も受け入れたりしながら、集団としての目標や活動内容について合意形成を図り、実践することができるようにする。話し合いのルールを明確にし、見通しをもって話し合いを進められるようにする。</li> </ul>

総合的な学習の時間	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実社会や実生活の中から課題を見だし、自分で見通しをもって情報を集め、集めた情報を整理してまとめ、表現できるようにする力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タブレットなどの基本的な操作を習得し、情報や情報手段を主体的に選択し活用できるようにする。</li> <li>・体験活動、観察・実験、見学や調査、発表や討論などの学習活動を積極的に取り入れる。</li> </ul>